

当初予算 一般会計 を詳しく

一般会計

市が行う仕事の大部分を賄う予算で、市税や国・県からの支出金などを財源にしているものです。市民の皆さんには最もかかわりの深い予算といえます。

歳入(ごういん)

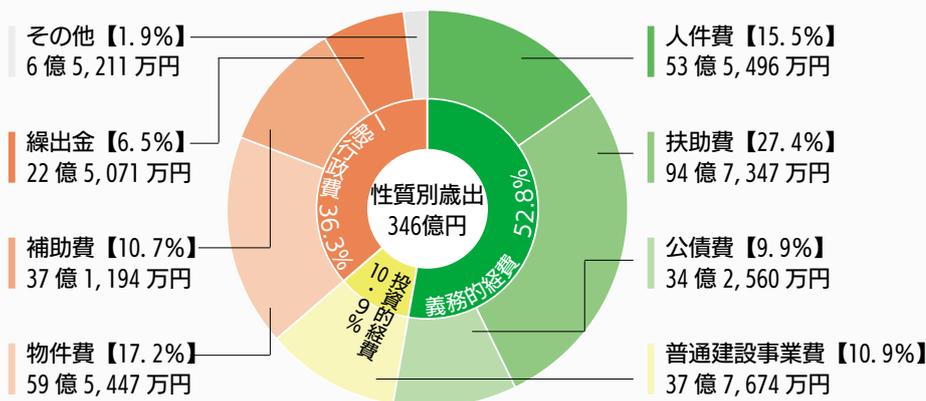
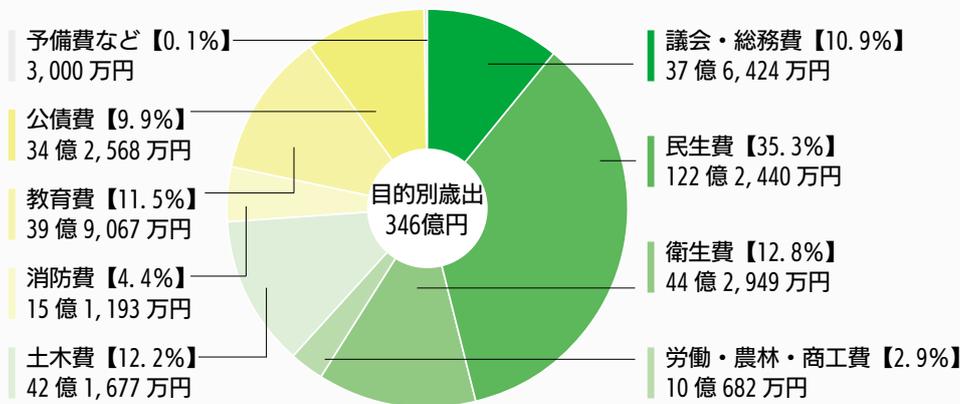
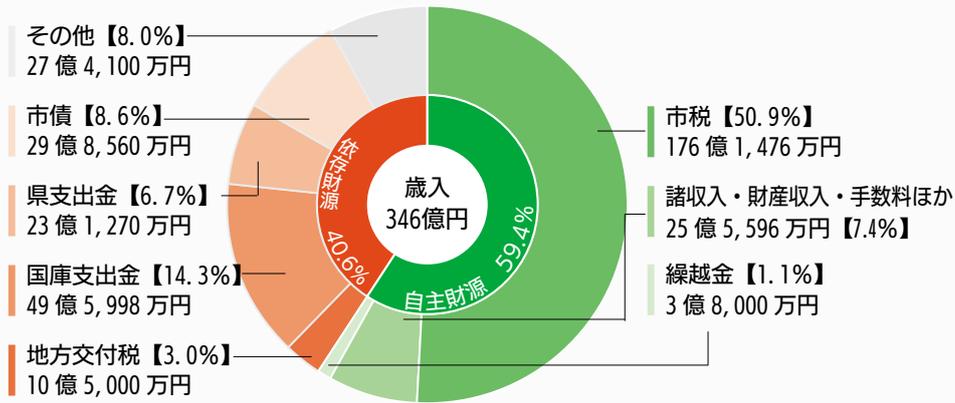
根幹をなす市税で、健康志向の高まりを受けた喫煙者の減少から市たばこ税は減。景気回復による個人所得の上昇で個人市民税が、また、まちづくりへの評価や新築家屋の活発な建設などにより固定資産税が増。

歳出(ごうしゅつ)

義務的経費は、児童保育や障がい者への自立支援など扶助費で大幅増。ただし投資的経費は交付金の減に伴い総じて減。

用語解説！

- 市税**…市民税・固定資産税など市独自の税金
- 繰越金**…前年度予算から繰り越したお金
- 地方交付税**…各市町村の財政状況に応じて、国から交付されるお金
- 国庫支出金・県支出金**…使い道を決めて国や県から交付されるお金
- 市債**…市が借り入れる借金
- 自主財源**…市税、市営住宅使用料など、市が収納、徴収できる財源
- 依存財源**…国庫支出金など、国や県から交付や割り当てられる財源
- 人件費**…市職員への給与など
- 扶助費**…高齢者・児童・障がい者などの支援にかかる経費
- 普通建設事業費**…道路や公共施設の新・改築などにかかる経費
- 物件費**…消費的性質をもつ経費（委託料、通信運搬費、光熱水費など）
- 補助費等**…市から団体などの補助のため払う経費や報償費、火災保険料など
- 繰出金**…一般会計、特別会計、基金の間で支出される経費
- 義務的経費**…支出が義務付けられていて自由に減らすことが困難な経費（人件費、扶助費、公債費など）
- 投資的経費**…支出効果が資本形成に向かい、将来に残るものに支出される経費
- 一般行政費**…義務的経費と投資的経費以外の経費



特別会計・公営企業会計

経理を他の会計と区別する必要のある特定の事業のため、法律や条例に基づいて設置します。三島市には7つの特別会計があり、水道事業会計と下水道事業会計は企業会計方式を用いた独立採算制を採っています。

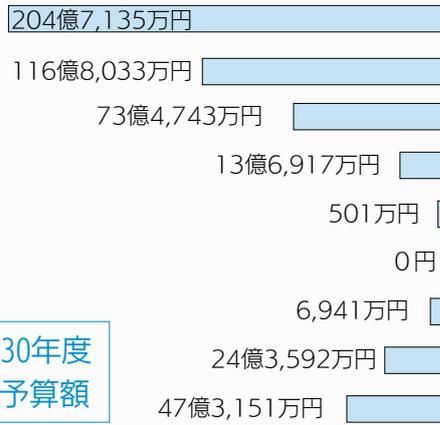
特別会計小計について

平成30年度から下水道事業会計は企業会計方式を用いるため小計が大きく変動しています。

当初予算

特別会計

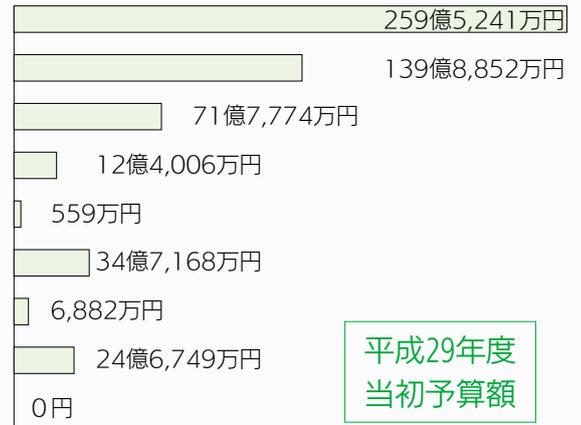
を詳しく



平成30年度
当初予算額

特別会計小計

- 国民健康保険
- 介護保険
- 後期高齢者医療
- 墓園事業
- 下水道事業
- 駐車場事業
- 水道事業会計
- 下水道事業会計



平成29年度
当初予算額

衛生費 /39,989 円



健康増進、環境衛生、ごみ処理など

民生費 /110,361 円



高齢者・障がい者福祉や子育て支援など

総務費 /31,580 円



税の賦課徴収、戸籍の維持管理など

議会費 /2,404 円



三島市議会の活動、運営など

土木費 /38,069 円



道路、公園の維持管理、都市基盤整備など

商工費 /4,851 円



商工業や観光の振興など

農林費 /2,699 円



農業の振興など

労働費 /1,539 円



就労支援や労働の振興など

その他 /271 円



災害復旧・予備費など

公債費 /30,927 円



借入金等の元金・利子の返済など

教育費 /36,028 円



幼稚園・小中学校の維持管理、社会教育など

消防費 /13,649 円



消防や救急など

当初予算を市民1人あたりで考える

市民1人あたりに使われるお金

312,367 円 (一般会計分)

市民1人あたりが納めるお金

159,025 円 (税金)

税の種類	金額
市民税	73,736円
固定資産税	65,675円
都市計画税	11,835円
市たばこ税	5,693円
軽自動車税	2,086円

※平成30年度当初予算と平成30年2月28日現在の三島市の人口110,767人を基に計算しています。